



本願寺本堂 修理前 外観

③ ^{ほんがんじ}本願寺

本堂

重文

京丹後市

〈屋根葺替・部分修理〉

鎌倉時代後期

本願寺は、奈良時代の^{てんぴょう}天平2年（730）に^{ぎょうき}行基が開山したと伝わる古刹です。本堂は、五間四方の平面に檜皮葺屋根が緩やかな曲線を描く優美な仏堂で、鎌倉時代の建立と伝わります。四周に濡縁を廻し正側面に蔀戸を吊る意匠は平安時代の貴族の住宅をも想起させます。今回の修理は45年ぶりの屋根葺替修理となり、併せて耐震補強・金物修理・塗装修理などを行います。